特定非営利活動法人両育わーるど

難病と共に働く「RDワーカー」の活躍を支える多様な働き方の推進と職場環境づくり

【背景と目的】

両育わーるどは、「障害や難病を越え、互いに学び合い、誰もが自らの望むように生きられる社会」というビジョンを掲げ、難病や慢性疾患と共に生きる人々の就労・社会参加を後押しする取り組みを行っています。 医療の進歩やテレワークの普及により難病者の就労機会は広がりつつあるものの、障害者手帳を持たない難病者への制度的支援や企業の理解・配慮はいまだ十分ではありません。制度・認知・選択肢の不足という課題に対し、私たちは難病と共に働く・働こうとする人々を「RDワーカー（Rare Disease Worker）」と定義し、当事者が活躍できる共生社会の基盤づくりを進めています。

【主な取り組み内容】

１．実態把握と発信：『難病者の社会参加白書』の発行や調査分析を通じ、難病者の働く現状と可能性を可視化・提言しています。

２．就労・体調管理ツールの開発： 難病者が日々の症状を記録・可視化できるアプリ「RDログ」を展開しています。自身の体調傾向を把握して「わたしらしい働き方」を見つけるとともに、職場と体調や必要な配慮を正確に共有・相互理解を図るツールとして活用されています。

３．認知拡大と共生カルチャーの醸成：「RDワーカー フォーラム」やクリエイティブプロジェクト等の開催により、企業や自治体、社会に対する啓発活動を行っています。

【共生社会実現への貢献】

難病者を「配慮が必要な支援対象」にとどめず、「多様な働き方を切り拓く先駆者」として捉え直すことで、誰もが体調やライフステージに合わせて柔軟に働ける環境（共生社会）の実現を目指します。本取り組みを通じて、疾患の有無を問わず一人ひとりの個性が尊重され、互いに支え合える職場・社会の構築に寄与してまいります。

令和８年度登録

企業･団体情報
団体名：特定非営利活動法人両育わーるど
住所：東京都渋谷区神南1丁目11-4　FPGリンクス神南
概要：難病者の社会参加のアドボカシー活動
ＵＲＬ：https://ryoiku.org/